

市議会だより



市議会ホームページ

発行/喜多方市議会 編集/議会広報広聴委員会



12月定例会

移住定住経費など増額

おじゃまします市議会です	2
12月定例会議案審議	6
一般質問に19名が登壇	10
審議結果・臨時議会	20

喜多方で
強豪チームを
つくるぞ!



おじゃまします 市議会です

特

集

子どもたちに スポーツの楽しさを伝えたい！

今回のおじゃまします市議会は市内でスポーツ活動（生涯学習）に参加している皆様と意見交換をしました。



一重 祐樹さん
ふくしま駅伝
喜多方市チーム主将

①今のスポーツを 始めたきっかけ

一重 ふくしま駅伝のテレビ中継を見ていて、選手の走る姿に感動したことや、自分もテレビに映りたいと思ったことがきっかけです。

鈴木 子供の頃はサッカーをしたかったので、父に連れられてソフトボールチームに入ることになり、そのことがきっかけとなりました。
小林 兄が入っていたスポ少ソフトボールチームの監督に勧められて、小学5年生の時からずっと続けています。

②意欲的に 取り組んでいること

内島 学生の頃に円盤投げの競技をしていて、陸上競技が好きで、競技の楽しさを伝えたい一心でスポ少チームを立ち上げました。

小沢 中学生の頃にパンフレット等でボート競技のことを知って興味を持ち、高校生から本格的に競技を始めました。

山口 子供の頃は野球をしたかったので、兄がスポ少のサッカーチームに入っていて、よく一緒に行っていたことがきっかけです。

一重 駅伝チーム選手は幅広い年齢層なので、主将として積極的にコミュニケーションを取るよう心掛けてきました。



鈴木 俊海さん
市町村対抗福島県ソフトボール
大会喜多方市チーム代表選手

鈴木 指導者として、技術だけでなく礼儀や精神性に重きを置いて、子供たちが自分で考えて結果が出せるよう指導していきます。

小林 チーム内では中堅として、技術面もそうですけれど、頑張る姿を見せたいと思っています。

内島 競技としてだけではなく、遊びの中から必要な知識だとか、自分で考えられる子供に育つよう指導しています。

小沢 国体で活躍できるように頑張っていますが、もっとボート競技人口を増やしたい思いでスポ少活動に携わっています。
山口 サッカーを通じて、子供たちがいきいきと活動できて、あいさつや集団行動も学べる場の

提供をしたいと取り組んでいます。

③現在の課題や悩み

一重 陸上競技を続けた子は市外の高校等に進学して地元を離れてしまします。どうしたら喜多方市で競技を続けたいと思ってもらえるのか、自分も含めた大人達が考えていかなければという思いがあります。

鈴木 ソフトボールの道具にはお金がかかるし、親が子供の送迎で大変などの理由で、やってみた子供たちに競技の場を与えてあげられないことが悩みです。

小林 今は喜多方市チーム代表として結果を残していきたいという思いが強いです。あと押切川公



内島 聖さん
陸上競技指導
喜多方陸上クラブ運営

園スポーツ広場の夜間照明は改修して欲しいです。

内島 立派な施設はあるのに使いたいときに使えない、それが悩みです。押切川公園スポーツ広場の三日前の申請は何とか改善を求めていきたいです。

小沢 雪国なので、市で温水プールなどの冬のトレーニング環境の整備ができないのかなという思いがあります。

山口 体育館の使用確保が一番の悩みです。対外試合ではお金もかかるので市のサポートもあればなどと思います。

④将来の展望

一重 オリンピックデーランなどのスポーツで交流できる場の創設は素晴らしいことだと思えます。子供たちにとっても貴重な体験になるので、自分でもそんな催しに将来にわたり積極的に関わっていききたいです。



山口 裕太さん
ジュニアサッカー
スクール運営

で子育てをしたいと思える場所にしたいです。コミュニティスクール制度ができたので、地域と学校の連携などもっと横の連携を増やしていきたいと考えています。

小沢 競技人口が増えて欲しいですし、ボートを身近に感じられるような競技にしていけたらなと思っています。

山口 スポーツに触れ合える場の提供をどんどんしていきたいです。市外や県外にその場を求めなくても望みがかなえられるようなチームを作りたいなと思っています。

⑤議会に臨むこと

一重 今ある施設の有効活用をして、市民が利用しやすい環境づくりを求めます。

めです。
鈴木 スポ少への補助金増はお願いしたいですが、有名選手の招致などを企画していただけないかと思っています。

小林 施設の規模・レベル関係なしに有名選手とふれ合える催しはできると思うので、交流イベントはどんどんやるべきだと思います。

内島 現状維持ではダメだと考えていますので、旧東高校の有効利用や、競技場等の管理の仕方・利用方法等の改善をお願いします。

小沢 合宿施設をつくらせていただけないでしょうか、あと家族や友人同士でできる、ボート体験会の開催をお願いしたいです。

山口 スポーツの楽しさを伝えたい一心で頑張っています。もっと関心をもってもらいたいのので、市と私達指導者たちとの意見交換の場を設定して欲しいです。



小林 千春さん
市町村対抗福島県ソフトボール
大会喜多方市チーム代表選手



小沢 源さん
ボート競技福島県
(成年男子)代表選手

令和3年度決算認定

9月定例会で上程された決算議案について、その認定審査のために決算特別委員会を設置、令和4年10月5日から17日までの休会を除く5日間の日程で審査を行い、意見を付して本決算を認定すべきものと決定しました。審議の内容をお知らせします。



委員長	佐原 正秀
副委員長	遠藤 吉正
委員	小澤 誠
委員	山口 文章
委員	蛭川 靖弘
委員	菊地とも子
委員	関本美樹子
委員	田中 雅人

11/24
10/5~17
9/15
9/1

12月定例会開会
決算特別委員長報告
本会議採決、認定

決算特別委員会
に審査
委員会採決
決算書や成果報告書、
その他必要な資料を基

決算議案上程
決算特別委員会設置(8名)
決算議案の審議を委員会付託
9月定例会閉会

9月定例会開会

決算審査のながれは？

決算の状況

歳入総額	436億1,993万7,254円
歳出総額	421億 963万7,174円
歳入歳出差引額	15億1,030万 80円

決算特別委員会での審査意見 (一部抜粋)

審査では、収入・支出状況、費用対効果の確認など、主として市民の利益に合致したかどうかの観点から質疑が行われ、その結果、計数的な誤りは認められず、監査意見としておおむね良好という意見でありました。

審査の過程において出された主な意見、要望は下記の通りです。

- 1 歳出については、新たな市民ニーズを正しく把握し、事業の優先順位を厳正に選択し、財源の重点的、効率的な配分により一層市民サービスの向上に努められたい。
- 2 災害復旧事業については、市民生活への影響を考慮し、今後とも迅速な対応に努められたい。さらに市民の安全・安心のため、防災対策を講じられたい。
- 3 農林業、商工業及び観光業等の地場産業振興対策については、現在も続いているコロナ禍の厳しい経済状況を踏まえ、事業者の支援に努め、起業を積極的に促すとともに、担い手育成や中小業者育成など、一層の政策的努力を講じられたい。
- 4 決算特別委員会並びに監査委員の審査意見、特に質疑の中で指摘のあった事項等については真摯に受け止め、引き続き鋭意改善に努められたい。



本会議での委員長報告

決算特別委員会での

Q & A

5日間にわたる審査において、107項目の請求資料を基に質疑が出されました。(※)総括質疑の一部をお知らせします。

※総括質疑とは、各所管事項の審査、質疑を踏まえ、再度確認すべき案件や政策的な事項について市長に質すものです。

決算特別委員会の総括質疑については喜多方市議会ホームページ(<http://www.city.kitakata.fukushima.jp/>)で公開しています。



総務 本市の財政構造は硬直化しているのではないか

問 令和3年度財政力指数0.37、経常収支比率92.3%、将来負担比率53.1%であったが、この内容を分析するともっと緊張感をもって事業の見直しを行い、健全な財政運営に今後努めるべきではないか。

答 健全な財政運営においては、市税収をはじめとする自主財源の確保が重要と考えるが、新型コロナウイルス感染症による税収の減少に加え、令和3年度から普通交付税の一本算定に伴う交付額の削減が大きく影響している。今後は、令和3年度の決算状況の検証を踏まえ、最小の経費で最大の効果を上げるべく、事務事業のスクラップ・アンド・ビルドや国・県補助金、さらには優良起債の活用など有利な財源を最大限活用する。また、経常経費の削減や産業振興を図る施策の推進により、財政構造の弾力化の確保に努めたい。

文教厚生 公有施設の利活用を図るための取組みが不足しているのではないか

問 カイギュウランドたかさとの令和3年度利用実績は化石展示区画で1日平均6～8名、健康増進・交流区画全部合わせても1日平均10名しかない。この施設には、自然科学・地質学でも非常に専門性の高い資料もあるのでもっと利活用できるよう工夫すべきではないか。

答 カイギュウランドたかさとは、博物館の類似施設の要素を持つ複合施設として位置づけしており、化石の展示以外にも化石発掘体験もでき、特に小学校の授業においての利用が多い貴重な施設と認識しているので今後有効活用を図っていく。

問 施設の内容をしっかりと説明できる人材や関係機関との連携も必要ではないか。

答 この施設も含め、今年度作成完了する施設の保存活用計画で、学芸員や他関連機関との連携等を含め大きな課題と捉えている。市として大切な施設であることから、今後文化課を中心として検討していく。

産業建設 画像投稿システム事業について組織体制の見直しや人員の増強が必要ではないか

問 本システムは、道路や街路灯の不具合を24時間投稿できるシステムだが、令和3年度も実績件数が増加している。投稿件数が増えれば、人手不足によって市民からの投稿にも迅速に対応できないのではないか。

答 本システムは、令和2年度から運用を開始し、半年で19件、令和3年度は67件、今年度の9月までで537件となっており大変増加している。投稿については、現地確認や投稿への返信、修繕の発注など迅速には対応している。件数の増大から、組織体制については実態も踏まえながら、負担軽減と効果的な対応が図られるよう今後検討する。

採決にあたっての討論

反対 基幹産業である農林業をはじめ、地場産業について所得が伸びていない。また、喜多方市民の6割を占める労働者の賃上げが進んでいない。さらに、大型事業が必ずしも地域の活性化に結びついていないことから反対する。

賛成 令和3年度喜多方市歳入歳出決算の認定については、各常任委員会所管事項を基に審査を重ねた結果、おおむね良好と判断したので賛成する。

移住定住経費など可決

12月
定例会

令和4年第9回12月定例会は11月24日から12月8日までの15日間の会期で開催されました。市長提案により、報告1件、予算案11件、条例案5件、その他2件、人事案件16件が提出されました。

令和4年度 12月補正予算

会 計	補 正 額	総 額
一 般	1億 540万 6千円	301億9,718万 6千円
特 別	5,707万 9千円	126億4,146万 2千円
下水道事業(収入)	1,333万 2千円	21億4,772万 1千円
// (支出)	662万 5千円	24億6,191万 1千円
水道事業(収入)	25万 0千円	13億6,883万 7千円
// (支出)	761万 3千円	18億8,892万 3千円

補正予算の主な事業

移住定住促進経費

【多世代同居住宅取得支援】

世代間の支え合いによる子育てや高齢者の見守り環境の充実等を図り、持続性の高い地域コミュニティを構築するため、市内で住宅を取得し多世代で同居する者に、その取得費用の一部を補助

【移住者住宅取得支援】

県外・会津13市町村外から本市への移住を支援するため、移住者の住宅取得に要する費用の一部を補助

【補正額460万円】多世代同居住宅取得支援事業補助金



【補正額140万円】移住者住宅取得支援事業補助金

農業振興対策経費



【補正額777万 2千円】園芸産地競争力強化事業補助金

災害復旧費



【補正額167万 1千円】現年度農業施設災害復旧事業費

12月定例会

議案審議・委員会の審査から

多世代同居住宅取得支援 申請件数増加で予算増額へ

多世代同居住宅取得支援事業の申請件数が当初予算の見込みより増加した。市は広報等の活用で市民に制度が浸透してきたことが要因と分析している。

問 多世代同居住宅取得支援事業補助金が増額補正で計上されているが非常に良いことだと思う。何件くらいの増加か。

答 460万円の増額補正。全体で28件の見込みで、当初予算より4件増えた。広報等の活用により周知を図ってきたところで、市民等に制度が浸透してきた。

問 住宅の新築と中古の割合、また市民と他市町村の割合はどうか。



答 28件のうち、新築が26件、中古が2件。転入元は市内26件、会津若松市1件、会津坂下町1件。転入先は喜多方地区20件、熱塩加納地区1件、塩川地区7件。

問 今回増額した分の新築、中古の内訳は何か。

答 今後執行が見込まれるのは18件であるが、新築17件、中古1件である。

移住者住宅取得支援要件の見直しを

申請額が当初予算の見込みより増加した。移住者は増加傾向にある。

問 移住定住促進経費事業で移住者住宅取得支援事業補助金が増額補正されているが理由は何か。また、この事業で人口は何人増えたか。

答 当初予算は5件分であるが、その内の1件が、中古購入から新築購入に変更されたことによる増額補正。

人口は、令和4年度上半期で14名増え、主に首都圏から多く、移住者の年齢構成は40代までが7割である。

問 以前、移住者住宅取得支援事業補助の要件の緩和措置について質した際、「計画の見直しは5年毎に」との答弁であった。見直しを検討しているか。

答 事業の対象外地域となっている会津13市町村を対象地域に含める緩和措置については、見直し年度である令和6年度に事業の実績、効果等を含めて自身を精査し、その時点で検討したい。

問 令和6年度まで見直しは行わないのか。また、本市に居住していた条件の緩和を含め、見直しの前倒しをする考えはないか。

答 事業効果の検証ということであるが、現在、事業実績も上がっており、この形で推移を見てまいりたい。今後全体的に事業の検証を行い、その中で緩和措置も含め検討する。

犯罪被害者支援条例の内容は

被害者の支援をすることにあるが、見舞金とともに市に相談窓口を設置。

問 他市町村の制定状況は。

答 県内では、今年度白河市、三春町、広野町、西郷村で制定している。福島県は昨年度10月に制定、全国では32都道府県で制定している。県の条例施行は市町村で条例を制定しないと支援ができないため、早急な対応が必要と考えて今回提案することになった。

問 相談窓口は具体的にどこに設置するのか。また、市民への周知はどのように考えているのか。

答 犯罪被害者の相談なので防犯に関する担当課の危機管理課になると思う。周知については、広報やホームページ等で行っていく。

問 犯罪の認定についてはどのように考えるのか。

答 相談時点では、犯罪が確定していない場合もあると考えられるが、見舞金については、警察の認定で確認できるものと考えている。

問 事件が解決していない場合などはどのようになるのか。

答 犯罪の認定については、法律による定義による認定になる。なお、要綱を策定し被害届が受理されているものを認定するように考えている。

磐見体育館（旧高郷第三小体育館）解体工事図面の保存管理が重要

磐見体育館解体工事補正予算163万2000円の追加。

問 磐見体育館追加工事に至る詳細はどのようなものか。

答 磐見体育館解体工事については、当初設計図面がなく概算設計を行い、工事に入った経過がある。特に、アスベスト含有の資材撤去面積が当初の150㎡から190㎡増加の340㎡になったことにより、追加補正予算額となった。具体的には、体育館の屋根裏防水シートと体育館軒下の裏板にアスベスト含有の資材があり、この数量が見込みより増加したためである。

問 図面の有無は重要である。今は電子データでの保存になってきているので、倉庫も必要ないが、保

答 存の考えはどうか。文書管理規程に基づいて図面が管理されている。



▲磐見体育館（高郷町）

多面的機能支払交付金を返還へ

多面的機能支払交付金は農業や農村が持つ多面的な機能の維持や、機能の発揮を図るための地域の共同活動を支援し、地域資源の適切な保全管理を推進する助成金制度。

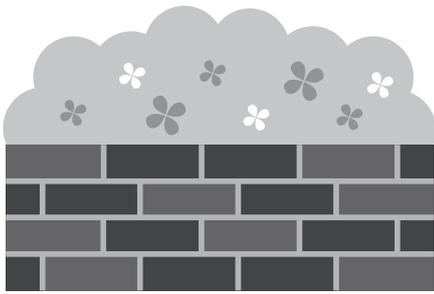
問 今回補正予算において、多面的機能支払交付金が221万6千円返還となるが対象となる組織数は。

答 対象となる組織数は23組織になる。

問 現在取り組んでいる組織のうち、当初県の制度変更で認められ計画していたが、途中で該当しなくなり、返還になった組織はあったのか。また、返還になった23組織の内容は。

答 途中で該当しなくなり返還となった組織はなかった。今回、返還の理由

で一番多いのは、長寿命化に係る事業満了に伴い精算するというもので、11組織である。また、小さな農地を取組面積から除外する申し出が8組織あった。次に、対象の用地が重複して申請時に記載ミスがあった2組織。また、取組の終了に伴う精算・一定程度環境整備が整ったので取組の休止が1組織あった。最後に、公共事業により対象農地の転用による返還が1組織、合計で23組織となった。



災害復旧工事を最優先させ、当初計画されていた道路改良工事を延期に

今年度実施予定であった木曾・館原線（山都町）の歩道設置工事が、冬期間の工事を避けて減額補正し、次年度に実施することになった。8月の豪雨災害による復旧工事を優先的に実施することが大きな理由である。

問 この路線は平成29年から見通しが悪い通学路ということで改良要望が出されており、ようやく一部着工となり喜んでいましたが、災害復旧優先は理解できるとして、今年度から次年度への継続での繰り越し工事はできなかったのか。

答 災害復旧工事が数多くある中で発注時期が冬期間となることもあり、令和5年度に改めて発注を行うという判断に至った。

問 今年度の歩道設置予定は20mということであ

るが、これまで着工するのに5年も経過しており、工事を行う場所の交通量と通学路であるということの危険性を考慮し、早急に工事を完了させるために次年度予算の増額はできないのか。

答 次年度の道路改良事業費の中で、前向きに検討していく。



喜多方市政のココが知りたい！

一 般 質 問

一般質問は、市政全般について市の方針を質すものです。

12月定例会の一般質問は11月28日から12月1日までの4日間行われ、19名の議員が登壇し、市民の皆さんの生活にかかわる行政全般について質問をしました。

文面は各議員の自己編集とし、質問した項目のなかから1項目程度を要約して掲載しています。(すべての質問項目は、オンデマンド配信でご覧いただけます。また、会期中はインターネットで中継を配信しています)



※各議員のQRコードをスマートフォンのバーコードリーダーで読み取ると、オンデマンド配信でご覧いただけます。

4水路仮復旧、ポンプ設置時の費用はどうなるのか

市長 地域の方々に負担がないように取り組む



齋藤 仁一 議員



問 8月豪雨災害にあった山都町の4カ所の農業用水堰仮復旧工事の進捗状況と工法はどうなるのか。

答 11月11日付けで工事請負契約を締結し、年度内完了を予定している。ニツ山堰は、宮古川の取水口及び用水路に堆積した土砂撤去終了次第、復旧工事は完了する。大林堰、本木上堰、御神料堰は、水路近くの沢水を取水する。その下流部の堆積土砂を撤去するとともに、水路が崩壊している箇所には仮設の水路を設置する。

問 沢水利用による仮復旧工事との説明であるが、一ノ戸川からポンプアップによる

工法は検討していないのか。

答 地区の方々と協議の際、一ノ戸川、早稲谷川からのポンプアップの意見が出たので、現在検討している。

問 ポンプ設置と必要であるが、その負担を市はどう検討しているのか。

答 燃料費及び日常の管理については、地区の方々と十分協議していく。また、ポンプ関係費用については、国の貸出しや維持費の規定があるので、詳細を確認の上、地域の方々に負担がないように取り組んでいく。

持続可能な高齢者支援をどう進める!



佐原 正秀 議員



市長 起きる前に備えるべきセキュリティ対策に努める

問 高齢化の進行に伴い、認知症高齢者の増加が見込まれるのが問題になり、その一環として「日常生活賠償補償つき位置情報提供サービス」という、サービス利用者が起こした事故の賠償責任を保険でカバーする新しい事業に注目が集まっております、これらの導入についてどう進めるか。

答 認知症サポーター養成を継続しており、日常生活の中で適切な見守りができる市民を増やしている。しかし、この位置情報提供サービスを取り入れる自治体も出てきており、先進的な取り組みについて、今後検討していく。

問 超高齢化社会において、要介護者のさらなる増加は明らかである。地域の介護サービスを維持するには、介護従事者の負担軽減が必然となり、地域内の高齢者に対し、医療・介護サービスや生活支援などを包括的に提供することが求められるが、これらの質の高い支援策の取り組みはどうするのか。

答 高齢者の方々がいつまでも住み慣れた地域で元気に暮らせるよう医療、介護、介護予防・生活支援、住まいが一体的かつ継続的に提供できるまちを目指し、地域包括ケアシステムの進化と推進のための施策の取り組みを進めていく。

保護者説明会、地域説明会意見の検討は!

市長 各会場での意見を整理検討している



後藤 誠司 議員



問 小中学校適正規模適正配置の保護者説明会、地域説明会の中で、「小規模校に課題があるというが、学術的データはない」という意見については、どう検討をしたのか。

答 国は学校教育において、児童生徒が集団の中で多様な考えに触れ、切磋琢磨することを通じて、一人一人の資質や能力を伸ばしていくことが重要であるとしている。中央教育審議会等において、小規模校における様々な課題が認識され、その対応としての適正規模適正配置について議論が重ねられたものを基礎としている。

問 上三宮小学校だけへの小規模特認校制度導入は不公平で、他の小学校にも適用すべきという意見の検討状況は。

答 上三宮小学校では児童数の極端な減少が続く、2年連続して新入生がいらないなど、学校運営上の課題や児童に与える影響が懸念された。適正規模適正配置実施計画とは別に検討を進め、緊急的な措置として小規模特認校制度を導入した。他の小学校への適用要望であるが、この制度は通学区域外からの就学が可能となる。複数の小規模校に導入した場合、児童の奪い合いの懸念もあり、他の小学校への適用は考えていない。

1.8歳民法改正による課題の対応は!



市長 成年トラブルに対する注意喚起や相談体制の強化
小中学校では、民法改正にかかる教育の充実を図る

山口 文章 議員



問 慶徳地区文化財の今後の課題について。

答 「慶徳稻荷神社の御田植祭」「熊野神社長床」の保存会と連携し各種支援強化や、人材育成、イベントの情報発信強化に努める。交通安全対策においては、県道熱塩加納会津坂下線は、交差点改良工事に着手し、県道塩川山都線では、横断歩道の移設も含めた見直しの検討をしている。

問 消防団への積極的支援や今後の方向性について。

答 消防団報酬が、上期手当から団員個人人口座への振込みになった。班・分団等



▲慶徳稻荷神社御田植祭

応していた経費の対応においては、各分団等の現状を調査し今後早急に検討し対応する。今後の行事に対する方向性は、団員の参集範囲や行事の内容・開催時間・方法について消防団と十分協議して対応する。今般、集中豪雨が頻発し消防団による排水作業が増加することが見込まれる。今後どのような資機材が必要か、消防団装備等を含め検討を進めていく。

喜多方ラーメンについて、市の認識を伺う!



市長 重要なブランドとして、今後も守り育てていく

問 現在の店舗数及び経済波及効果をどのように分析しているのか。

答 平成22年度は113店舗、令和4年11月現在は90店舗となっている。また、経済波及効果は算出していないが、平成30年に行った観光動向及び消費額調査において、観光客の約7割がラーメン店を訪れている。

問 市としてラーメン産業関係団体と連携し、さらなる情報発信や産業強化支援への取組が必要ではないか。

答 喜多方ラーメンの国内外での更なる情報発信や、ラーメンを核とした観光誘客、

地域活性化に繋がるイベントの実施など、関係機関・団体との連携を更に深め、持続可能な「ラーメンのまち喜多方」の発展に取り組んでいく。

問 高齢化や後継者問題により店舗数が減少しているが、「喜多方ラーメン」を守るため移住・定住施策と連携した事業継承の仕組みづくりが必要ではないか。

答 移住・定住施策との連携も視野に、様々な施策を展開しながら、喜多方ラーメンブランドを守り育て、さらに発展させていく仕組みづくりが必要と考える。

遠藤 吉正 議員



▲喜多方ラーメン

流域全体で田んぼダムを強力に推進すべき!



十二村 秀孝 議員



市長 流域全体での取組になるよう推進していく

く。害の軽減を図っていく。連携を図り、流域全体における治水強化と水害の軽減を図っていく。

問 流域全体の関係者が協働し水害を軽減する流域治水への転換が重要であると考えますが、市の考えと、今後の進め方は。

答 本市は国土交通省北陸地方整備局阿賀川河川事務所のア賀野川水系阿賀川流域治水協議会の構成員になっており、策定されたプロジェクトには、河川整備だけでなく、ハザードマップの整備や田んぼダムなども盛り込まれ、定期的に見直しが行われている。現在行っている8月3日からの大雨に係る検証を踏まえ、関係機関と連携を図り、流域全体における治水強化と水害の軽減を図っていく。



▲田んぼダムとして期待できる市内の水田

問 ふるさと納税の増加のため、関係人口を増やす取組をどう検討してきたのか。

答 ふるさと納税払いチヨイスPayを導入し、寄付者が本市へ実際に来て利用できるサービスを開始したことで、市内の活性化につながるものと考えている。さらに、「旧甲斐家蔵住宅の保存・修理」への支援を求め、ガバメントクラウドファンディングを実施しており、新たなファン獲得と関係人口の拡大を図っていく。



山口 和男 議員



会津電力バイオマス発電 浄化センターや学校給食センターへの発電供給へ

市長 会津電力と連携して検討していく

発電の際に発生する熱の活用は浄化センターや学校給食共同調理場といった市有施設への熱供給を行えないか

問 会津電力株式会社がバイオマス発電事業に取り組みにあたり、何を協力できるのか伺う。

答 まず、事業への協力や応援については、脱炭素社会の実現のために必須であることから、事業者等とも調整しながら対応していく。

市の具体的な協力として、燃料用丸太のストックヤードが各所に必要となるため用地の候補となる場所に関する情報等に協力していく。

問 関係する5行政区2団体が10月3日付で喜多方市役所、会津北部土地改良区、昭和電工株式会社喜多方事業所に要望書を提出したが、市の役割、責務として調査したデータは市でも保存することが必要と考える。

答 市が主体となり回答内容について会津北部、昭和電工の3者で整理し早く回答できるような進める。その中で水田及び井戸各1ヶ所の調査実施については年内の降雪前に調査を進める。

会津電力と連携して検討していく。

地下水・水田土壌調査年内実施へ

旧東高校の利活用と合わせ東部地域の開発を!



渡部 一樹 議員



市長 議論を進めていきたい

問 旧県立喜多方東高校に係る事業者からの問い合わせ状況は。

答 現在まで複数の事業者から相談や問い合わせをいただいている。引き続き県教育

答 立地適正化計画に基づいた整備を優先している。東部地区は、都市の施策を検討する上で重要な地域と認識していることから、議論を進めたい。

問 東部地域（旧県立喜多方東高校から国道121号バイパスの間の地域）については民間と連携しながら商業施設、公共施設、快適な住空間の提供などのビジョンを示す必要があるのではないか。

委員会と協議を進めていきたい。



▲旧喜多方東校校舎

答 将来的に定員を割り込む保育施設が出てくることが予想されるため、公立と私立の受入れ園児数の見直しを視野に入れておく必要がある。

問 本年度の出生数の状況から今後の保育について民間事業者から不安の声が寄せられている。公立と私立の入所調整の考え方は。

くり返す塩川洪水、根本解決をどうするのか?

市長 災害対応検証委員会の検証に基づき住民と話し合う



小島 雄一 議員



問 姥堂川の危険性をどの様に認識しているのか伺う。この河川は関柴ダム周辺の広大な山林と2100haもの流域をもっているため、一旦大雨になると急激に増水する。そのため流域に降った雨が川に流れずに内水となつて、塩川の洪水を引き起こしている。姥堂川の排水機能をいかに高めるかが問題であると思うが伺う。

答 この河川はこれまで何度度も下流域において浸水被害を招いており、今後も憂慮される川であると認識している。河川管理者の県では既に改修済みであるとして、今後必要な維持管理をしていくとしているが根本対策

問 塩川市街地に至る前に分水路を設置して、姥堂川の流れて内水を日橋川に抜く方法を検討してはどうか。

答 分水は流域治水の一つの手段である。検証委員会でトータルに検討する。



▲かん水した塩川町内

問 被災企業に対する援助はないのか。

答 各企業の意向を伺いながら対応する。

は今後も検討していく。

8月3日大雨災害の対策状況は



矢吹 哲哉 議員



市長 対応の検証、早期復旧、防災対策強化を図っていく

問 8月3日大雨の避難指示はもっと早く発令できなかったのか。

答 関係団体を入れて検証委員会を行っていく。

問 避難指示は市が独自に行う。市災害対策本部独自の検証が必要では。

答 検証委員会の中で行っていく。

問 農地等の小規模災害（激甚災害対象外のもの）の復旧状況は。

答 市単独補助事業で農家等が行う。対象箇所は約600箇所、そのうち補助申請は11月22日現在で、約100箇所ある。

問 低米価と資材の高騰で生産費を下回る状況にあり、補助率引き上げが必要。激甚災害対象箇所は農家負担はないが、小規模災害の場合、農地で50%も個人負担があるのは改善すべき。国の制度を活用すれば、農家負担をなくすことが可能ではないのか。

答 現状では国の制度活用は困難。

問 災害が拡大している要因に、治山・治水事業の停滞がある。河川や保安林の整備強化が必要ではないか。

答 県が河川について計画的に進めている。地元の要望等も考慮し進める方針である。

「のるーと喜多方(みんべえ号)」の利便性を高めるために

市長 「スマホ教室」を中心に予約アプリの普及促進を図っていく



関本 美樹子 議員



問 AI（人工知能）オンデマンド交通「のるーと喜多方(みんべえ号)」に関するスマホ教室の意図は何か。

答 スマートフォン端末等の使用に慣れておらず操作に不安を抱えている高齢者等にスマートフォンの基本操作を体験していただき、その機能やアプリへの理解を深めてもらうための開催である。

問 現在は市街地を中心に、東部エリアの一部で運行している。「のるーと喜多方(みんべえ号)」とアプリ操作の習得にはどのような関係があるのか。

答 AIの活用により電話及び専用アプリからいつでも予約が可能となり、指定された時間に乗り場に来れるようになった。予約専用アプリ「のるーと」の使い方を学んでもらうことにより利用者の利便性を高めることができる。一人でも多くの方にまずは乗っていただくことが重要と考える。

問 研修内容はどのようになっているのか。

答 携帯ショッップの指導者が各受講者のスマートフォン操作の理解度に合わせた説明・指導を行いながらアプリのダウンロード、カメラの使い方など基本的な操作を学ぶ内容となっている。



児童虐待防止対策は必須である。今後の取組みは



菊地 とも子 議員



市長 モデル小学校を選定し「レジリエンス教育」を始める

問 児童虐待に関する相談件数の過去3年間の推移は。

答 令和2年度が45件、令和3年度が57件、令和4年度は10月末現在で57件である。

問 児童虐待防止対策は。

答 令和3年度の社会福祉課地域包括ケア推進室の新設に伴い、同室内に子ども家庭総合支援班として、子育て世代包括支援センターと子ども家庭総合支援拠点を一体的に整備し、保健師、助産師、社会福祉士、精神保健福祉士、公認心理師、保育士等の有資格者により、県児童相談所等の専門機関と連携

のうえで対応に当たっている。また、虐待リスクを軽減するため、本市独自の児童のメンタルヘルス予防対策として「レジリエンス教育」のモデル小学校を選定し、令和4年12月9日から開始する予定である。次年度からは保護者に対する親子の関わり改善強化を目的に「ペアレント・トレーニング」を導入予定である。

問 モデル小学校は。

答 喜多方第一小学校の4年生を対象としている。

一般廃棄物の減量化・資源化を急げ



市長 減量化・資源化は重要であると考えている

問 本市ではカーボンニュートラルを宣言し、昨年6月にはプラスチック資源循環促進法が国会で制定された。これらは日本の廃棄物行政が「焼却中心からごみ減量化・資源化優先」への大きな転換になると期待されている。本市のごみ処理の課題をどのように事業化していく考えか。

答 生ごみについては、生ごみ処理機等を活用した堆肥化が可燃ごみの減量化に有効であることから、市民へ有効性を周知するとともに、支援方法について検討していく。次に、プラスチック容器・包装の不適合物の除去については、分別の徹底のみならず、

プラスチックごみの減量化を図るため、使い捨てプラスチックの利用そのものを抑制する環境に配慮した消費行動を、市民及び事業者等へ周知啓発していく。

次に、木・竹・わら類を木質バイオマスとしてリサイクルする事業については、市内で木材の再資源化を可能とするため、当該事業にかかわる市内事業者の、一般廃棄物処理業の許可取得に向け、協議を進めている。

小澤 誠議員



飼料用米、専用品種の種もみ確保は可能か



齋藤 勘一郎 議員



市長 種もみを専用品種で賄うのは難しい

問 飼料用米の専用品種の種もみ確保は充分に対応できるのか。

答 専用品種に限定されれば、令和5年産飼料用米作付けに必要な種もみ全てを賄うことは非常に難しい。

問 今回の見直しについて、生産者の声をどのように国に要請したか。

答 作付け準備を行う時期までに見直し内容が明確にならないと混乱することから、専用品種だけでなく主食用と区分して、多収性のある一般品種による栽培体系の確立が米の需給安定と飼料用米の生産定着につながるため、助成の見直しの

方針を改めるよう国に要請している。

問 ソバの作付けについて、5年に1度水田に戻す事について生産者の声をどう把握しているのか。

答 「長年転作に協力してきたのに納得できない」、「農地保全が困難となり耕作放棄地の増加につながる」等、憤りと不安の声が寄せられた。

問 耶麻農業高校の利活用について、令和7年4月以降、空き校舎となるがどのように市として考えるのか。

答 これまでの経過も踏まえ、統合後の校舎等の利活用について県教育委員会と協議を進めていく。

さらなる夢あるまちづくりに邁進すべきでは！

市長 今後、いろいろと検討をしていく

問 市道豊川・慶徳線が近い将来に供用されるにあたり、本市の市街地において都市計画の見直しを行うのか。

答 特に、都市マスタープラン、都市計画区域、用途地域は見直すのか。
特に大きな都市環境の変化があるのかどうか推移を見ながら対応していく。

問 街中の緑町通り線の整備、坂井・四ツ谷線のバイパスまでの延長、周辺の広大な東部地区の夢ある整備、税務署東側道路の花園町部分の一方通行解除等は都市計画としてやっていかねばなら

答 ないことではないか。それぞれに対応が可能かどうか、検討していく。

問 かつて市議会議員の大先輩が唱えた、押切川を埋め立てて夢ある街並みを作ろう、というような大きな発想が、今の市役所には欠けていると思う。私は本市の合併当初から市役所の前の通りを、古四王山にトンネルを貫通させて山都町まで抜けと言ってきた。また古四王山は山都町側は穏やかな丘陵地帯で、いろいろな施設を作るには適している。このような夢あるまちづくりを考えてみたらどうか。

答 なかなか難しいと思うが、夢あるまちづくりについては研究をしていく。

伊藤 弘明 議員



市内に子供を産める病院がなくなったことについて



蛭川 靖弘議員



市長 安心して出産できる医療体制の構築に向けて国・県に要望していく

問 市内に産婦人科医を招へいすべきと考えるが、その可能性は。

答 県内の人口10万人当たりの産婦人科医の数は少ずつ増えているものの、絶対数が不足している状況にある。産婦人科医不足の原因としては、労働時間が非常に長いことや、医療訴訟のリスクが高いことなどが挙げられ、その影響により専攻医が急減したこと、過重労働の問題は依然として続いている。

仮に本市において医師を1名確保できたとしても、厳しい労働条件の解消とはならず、安全な医療体制を構築することは非常に難しい。



いものと考えている。

問 妊婦をサポートする本市の体制、施策について伺う。

答 市内にあるタクシー会社1社が陣痛タクシーのサービスを行っている。また、行政の支援策については、国の物価高克服・経済再生実現のための妊娠出産時の関連用品の購入費助成の他、産前・産後ケア・一時預かり等の支援を自治体で創設し継続的に実施するとされており、今後具体的な実施方法について検討していく。

市長など「4年毎の退職金制度」は見直しを!



市長 他市の状況を踏まえ、対応を検討したい

問 コロナ禍と物価高によって市民は厳しい生活を余儀なくされ、税金の集め方、使い方が厳しく問われている。市長などの高額すぎる4年毎の退職金制度の見直しを求めたい。まず特別職である三役(市長、副市長、教育長)の直近の退職金支給状況を伺う。

答 特別職である三役の直近の支給状況は、4年の任期満了に伴い、市長が令和4年2月に2052万円、副市長が平成31年4月に1094万4千円、教育長は任期が3年で、令和2年3月に前任者の残任期間である2年満了により336万円を支給した。

田中 雅人議員



問 これまで何度も特別職の報酬等審議会を開催を求めてきたが、「検討する」との答弁であった。どう検討されたのか。また、開催は市長の諮問事項ではなかったか。

答 特別職報酬等審議会(市条例により)、市長が額の改正に関する条例を議会に提出しようとするときに、その額について審議会の意見を聞くことになっている。「三役の退職手当の額」は審議事項に無く、審議対象外となっている。

問 三役の退職金についても報酬であり、報酬等審議会で見直しを必要があると考えられるがどうか?

答 今後、他市の状況等を踏まえた上で、対応を検討する。

現場を適宜的確に読み、農振計画を変更せよ!



五十嵐 吉也 議員



市長 広範囲に農振を外すことは現時点では法律上難しい

問 農振は「経済上の変動、その他情勢の推移、更に農地を効率的、総合的な利用に支障をきたす恐れがある場合は変更しなればならない」とある。上高地区国道東側に位置する農地の営農は、車の往来が激しく危険性を指摘されている。また、消防・救急活動の拠点となる新庁舎が整備されたことで、一層危険性を増したことは自明である。

更に、市道慶徳・豊川線の道路整備により、現在の下勝稲村線が行き止まりとなり、営業が成り立たなくなるとする事業者もいる。市は、農振法と照らし合わせ、この地区の農振を外し道路改良に

よる土地利用の促進を図ったらいかがか伺う。

答 広範囲に農振を外すことは現時点では法律上難しい。個別の除外申請については条件が満たされれば許可をする。

問 農地転用で農振地域を外していくと、虫食い状況が生じ、不整形な地域となる可能性はある。

農振法は、農用地の集団化、作業の効率化、安定化経営に支障を及ぼさないとしている。国道と水路には含まれた農地、消防・救急車の拠点のある場所が優良農地と言えるのか伺う。

答 経済事情の変動等により農用地区域からの除外が必要な場合においては、関係機関と協議の上、随時、変更を行っている。

入田付地区上水道事業の現在までの進捗状況について

市長 全ての事業が本年度完了する予定



佐藤 忠孝 議員



問 入田付地区上水道事業の現在までの進捗状況を伺う。

答 管路布設工事箇所、舗装本復旧工事及び配水池の場内舗装を行い、全ての事業が本年度完了する予定。

問 当時の設計と現在の施行の変更は無いか伺う。

答 平成27年10月から令和4年度までの8力年で実施する計画である。杉山地区の消火栓設置については再検討し、1基増設、入田付地区全体の消火栓を11基から12基としたところである。

問 品質確保や仕上がりが良くできるような工事を行うための対応を伺う。

答 入田付地区については降雪時期までに工事を完成できるように対応している。また、舗装復旧工事については、9月までに工事を発注し年内には完了する予定。

問 給水について集落への説明をどのようにしてきたか伺う。

答 工事着手前から説明会を実施し、個人負担を軽減する事例などを紹介し、水道加入促進を図ってきた。さらに、各家庭を訪問説明するとともに、郵送によるチラシ配布等も実施している。



12月定例会審議結果

意見が分かれた議案

採決で賛否が分かれたものについては下記のとおりです。これ以外の案件などは、全会一致で可決されました。すべての議案名と結果は喜多方市議会ホームページをご覧ください。



議案等名	議員名	議決結果 (議決年月日等)	賛成	反対	1 矢吹 哲哉	2 小澤 誠	3 山口 文章	4 十二 村秀孝	5 上野利 一郎	6 小島 雄一	7 渡部 一樹	8 蛭川 靖弘	9 菊地と も子	10 遠藤 吉正	11 小林 時夫	12 関本美 樹子	13 齋藤 仁一	14 田中 雅人	15 五十嵐 吉也	16 齋藤勘 一郎	17 佐藤 忠孝	18 伊藤 弘明	19 後藤 誠司	20 佐原 正秀	21 山口 和男	反対討論	賛成討論
議案 第106号	令和4年度喜多方市一般 会計補正予算(第12号)	原案可決 (令和4年12月8日)	17	3	●	●	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	小澤 誠	関本美 樹子
議案 第111号	喜多方市議会議員の議員 報酬等に関する条例の一 部を改正する条例	原案可決 (令和4年12月8日)	17	3	●	●	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	小澤 誠	関本美 樹子
議案 第112号	市長等の給与及びその他 の給付に関する条例の一 部を改正する条例	原案可決 (令和4年12月8日)	17	3	●	●	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	小澤 誠	関本美 樹子

○は賛成、●は反対、-は欠席、議長（渡部勇一）は採決に加わらない。

臨時議会が開催されました

令和4年第8回臨時会が11月1日に開催され、令和4年度喜多方市一般会計補正予算などが提案された。特に8月3日の大雨による災害復旧や物価高騰対策に関する審議が行われ、全会一致で承認・可決された。

主な補正予算は次のとおりです。



【一般会計補正予算 第9号】

- 農業用水堰仮復旧工事 4,440万円
- 道路災害復旧工事 3億706万4千円

【一般会計補正予算 第10号】

- 高齢・介護施設等価格高騰重点支援交付金 1,265万円
- 電力・ガス・食料品等価格高騰緊急支援給付金 2億7,500万円
- 私立保育施設価格高騰重点支援交付金 1,182万3千円
- 宿泊施設価格高騰重点支援交付金 1,460万円
- 揚水機場災害復旧工事 2,730万円
- 災害関連地域防災がけ崩れ対策事業測量設計業務委託 1,355万1千円

討論

議案106号 喜多方市一般会計補正予算

議案111号 喜多方市議会議員の議員報酬に関する条例の一部を改正する条例

議案112号 市長等の給与及びその他の給付に関する条例の一部を改正する条例

反対討論

30年来上がっていない日本の労働者の賃金はもっと引き上げるべきである。市内の労働者の暮らしを考えると、賃金の長期間低迷や、ボーナスが出ない職場が少なからずある。農家は米価の下落や燃料の急騰に悲鳴を上げ、商店街も消費が伸びていない。こんなときに職員に合わせて特別職の期末手当の引上げは賛成できない。

特別職については条例で報酬の額が決まっている。人事院勧告は労働者の賃金について勧告する制度であり、報酬についての勧告ではない。それを利用して期末手当の根拠にするのは、乱暴な議論である。

賛成討論

県人事委員会が実施した公務員と民間の給与等を調査した結果に基づく給与に関する勧告を踏まえ、県に準じて一般職の給与の改定を行うとともに、一般職の改定を踏まえ、県の職員及び知事等の特別職に準じて議員及び市長等の期末手当を改定している。本議案の人件費の調整は、一般職との均衡を図る観点からも妥当と判断する。

人事

全会一致で任命することに同意しました。(敬称略)

教育委員会教育長

佐川 正人 (喜多方/塗物町)

教育委員会委員

山口謙太郎 (塩川/別府)

全会一致で選任することに同意しました。(敬称略)

岩月財産区管理会財産区管理委員

小澤 洋一 (岩月町/治里)

渡部 義男 (岩月町/治里)

永井 文雄 (岩月町/平沢)

若菜 靖彦 (岩月町/平沢)

蓮沼 清義 (岩月町/平沢)

佐藤 孝守 (岩月町/治里)

菊地善一郎 (岩月町/治里)

慶徳財産区管理会財産区管理委員

山内 健一 (慶徳町/松野)

高原 清美 (慶徳町/真木)

小山 喜男 (慶徳町/豊岡)

渡部 一意 (慶徳町/新宮)

夏井 永光 (慶徳町/舞台田)

眞壁 和利 (慶徳町/山崎)

佐藤 吉隆 (慶徳町/新町)

議会の主な動き

9月

21日 広報広聴委員会行政視察 (～22日)

27日 総務常任委員会行政視察 (～29日)

10月

4日 全員協議会

5日 決算特別委員会

26日 文教厚生常任委員会行政視察 (～17日)

31日 全員協議会

11月

1日 全員協議会

4日 3市町村議会議員交流会

7日 産業建設常任委員会行政視察 (～9日)

11日 全員協議会

16日 議会運営委員会

21日 市議会中央要望

24日 12月定例会 (～12/8日)

29日 議会運営委員会

12月

1日 議会運営委員会

8日 広報広聴委員会

23日 議会運営委員会

11日 議会運営委員会行政視察 (～13日)

行政視察報告

各委員会の行政視察報告書は喜多方市議会ホームページで公開しています。

総務常任委員会

9月27日～29日

〔徳島県三好市/株式会社ハレとケデザイン舎〕廃校利活用による地域活性化策について

―廃校を民間に貸し付け、新しい地域の場を創出している。

〔NPO法人グリーンバレー〕徳

島県神山町にある同法人の取組

―創造的過疎のまちで、外部から若者やクリエイティブ人材を誘致している。

〔愛媛県新居浜市〕シティブランド戦略について

―まちの魅力を市内外に発信し、知名度向上を目指している。



文教厚生常任委員会

10月26日～28日

〔島根県邑南町〕日本一の子育て村構想

―ユニークな移住・定住事業に取

り組む少子化対策のトップランナー。

〔島根県中山間地域研究センター

(地域研究科)〕人口減少対策・少

子化対策について

―地域研究科では、持続可能な地域社会の形成を支援している。

〔島根県雲南市〕コミュニティナ

スについて

―制度にとらわれることなく、多様なケアを実践する看護師が活躍している。



産業建設常任委員会

11月7日～9日

〔三重県いなべ市〕農と福祉の連携プロジェクトについて

―障がい者雇用により、農業従事者を確保している。

〔岐阜県白川町/NPO法人ゆき

きハートネット〕同法人の取組

―就農・移住支援、販売促進など、

就農希望者を幅広く支援している。

〔岐阜県高山市〕スマート農業/

就農支援

―スマート農業推進プロジェクト

を設置し、推進している。/就農相談から就農後まで一貫したサポートを行っている。



議会運営委員会

1月11日～13日

〔静岡県藤枝市議会〕議会改革への取組について

―決算特別委員会、予算特別委員会及び常任委員会が相互に連携して、執行機関を監視・評価するチェック体制を構築している。

〔静岡県沼津市議会〕予算・決算に関する委員会について

―一般会計予算決算委員会、特別会計企業会計予算決算委員会の2常任委員会を設置し、全議員で審

行政視察

査にあたっている。

〔静岡県富士市議会〕議会基本条例の取組について

―一般・特別決算委員会及び企業

会計決算委員会を設置し、審査において事務事業評価を実施し、執行機関に提出している。

広報広聴委員会

9月21日・22日

〔岩手県栗石町議会〕議会モニター制度について

―モニター委嘱は今年度で2期目、1期目はほぼ定数を満たしていたが、2期目は現在のところ定数割れとなっている。持続可能な取組みが重要な視点と感じられる。

〔宮城県亘理町議会〕議会モニター制度について

―モニターのクレーム的な意見が多くその対応に終始している印象を受けた。今後制度を更に良いものとするため設置規定の見直しやモニターの選考基準の作成に着手している。

3月定例会の予定

日	月	火	水	木	金	土
2/19	20	21	22	23 祝日	24 本会議 (開会、 会期決定、 提案理由説明等)	25
26	27 本会議 (一般質問)	28 本会議 (一般質問)	3/1 本会議 (一般質問)	2 本会議 (一般質問)	3 本会議 (議案審議)	4
5	6 本会議 (議案審議)	7 委員会 (各常任委員会 付託案件の審査)	8 委員会 (各常任委員会 付託案件の審査)	9 休会 (事務整理)	10 休会 (事務整理)	11
12	13 休会 (事務整理)	14 本会議 (委員長報告、 各案件決定、閉会)	15	16		

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、当面の間、体調のすぐれない方、風邪症状がある方の傍聴はご遠慮いただきますようお願いいたします。なお、傍聴される方は、手洗い・手指の消毒とマスクの着用、入場前の検温にご協力をお願いいたします。今後の状況によっては、対応が変わることもありますので、ご了承ください。

3月定例会に行う 請願・陳情について

【提出期限】

各定例会開会日（招集日）の9日前まで

【提出先】

喜多方市議会事務局（市役所4階）

※期限を過ぎて提出されたものは、次回定例会での審査になりますのでご注意ください。

【請願提出に関する必要事項】

請願には必ず1人以上の市議会議員の紹介が必要になりますので、市議会議員にご相談ください。陳情の場合は紹介の必要はありません。

詳しくは、議会事務局 TEL24-5253まで



エフエムきたかた 議会中継 78.2MHz

定例会の様子を録音放送しています。

開会日の翌週、平日の午後2時～午後5時は、ラジオ放送をぜひお聞きください。



議会 インターネット中継

開会中はライブ(生配信)を視聴できます。
過去の配信映像も視聴できます。



喜多方市議会公式facebookページを開設
しています。
<https://www.facebook.com/kitakatashigikai/>





取材レポート

スポーツ交流を通して 人づくり・まちづくりを目指す

(特集2・3ページをご覧ください。)



今回の「おじゃまします市議会です」では、スポーツを通して、子ども達にメンタル面やコミュニケーション能力等にも重きをおき活動している6人の皆さんからお話をお聞きし、とても感動をいたしました。「スポーツの楽しさを子ども達に伝えたい」「スポーツ人口をもっと増やしたい」「喜多方で強豪チームをつくりたい」この思いが皆さん

の共通の願いでした。この願いを叶えるために、試行錯誤しながら日夜奮闘している皆様に脱帽です。本市では、スポーツ交流都市宣言やボートのまち宣言をしていますが、スポーツ交流の場所が少ないことから、環境の整備が必要だと強く感じました。

(菊地とも子委員長)

背景の絵柄は「喜多方の染型(県有形民俗文化財指定)」“福寿草”です。



編集後記

各議員は、一人ひとり自分の立場に立ち角度を変え、市、行政を見守っています。同時に市民の皆様との話し合いも大切に、議会だよりの中に特集を組み、様々な職場で働く方々の考え、思いに寄り添って来ました。
これからも、感染症との闘い、そして物価高に対する生活防衛と難題は続きますが、市民の皆様と力を合わせ、打開を図っていきたく思っておりますのでよろしくお願いたします。

議会広報広聴委員会

関本 美樹子

- | | | | | |
|---|---|---|---|--|
| 
委員 遠藤 吉正 | 
委員 蛭川 靖弘 | 
委員 渡部 一樹 | 
副委員長 矢吹 哲哉 | 
委員長 菊地とも子 |
| 
委員 五十嵐吉也 | 
委員 田中 雅人 | 
委員 齋藤 仁一 | 
委員 関本美樹子 | |